オイルキャッチタンクキット　取扱説明書

製品番号	07-05-0026

適応車種及び	GROM:(JC61-1000001 ～)
フレーム番号	MSX125:(MLHJC618_D5000001 ～)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

特徴

■キャッチタンク容量は約 372cc です。
■キャッチタンク本体には、セパレーターが不要な特殊形状ボスを採用している為、オイルが噴出しにくくなっています。
■各ユニオンはネジ式になっていますので、ホースの取り回し等、自分の好みに合わせて取り付けることができます。
■取り付け場所はシュラウド左側の内部に収まり、外観を崩さずすっきりとまとまります。
■クラッチカバーからの取り出し口はスイベルタイプのブリーザーキャップを採用しており、ホースを取り外すことなくブリーザーキャップの取り外しが行えます。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により、事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
◎オイルキャッチタンクを車両に取り付ける際にリターンホースと干渉するシュラウドカバーを一部加工する必要があります。
◎ブリーザーキャップにはオイルレベルゲージは付いていませんので、オイル量を点検する際は　ノーマルオイルレベルゲージをご使用ください。
◎車体の個体差によりフューエルポンプステーと干渉する場合があります。
その場合は同梱しているワッシャをご使用ください。
◎ホースの目安長さやホースの取り回しはあくまでも参考のものなので、必ずしも取扱説明書に書いてあるホース長やホースの取り回しを推奨するわけではございません。
◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
◎製品を加工等された場合や取り付けられた場合は、保証の対象にはなりません。
◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
◎不明な点がございましたらお買い求め販売店にお問い合わせ下さい。

⚠ 注意　この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

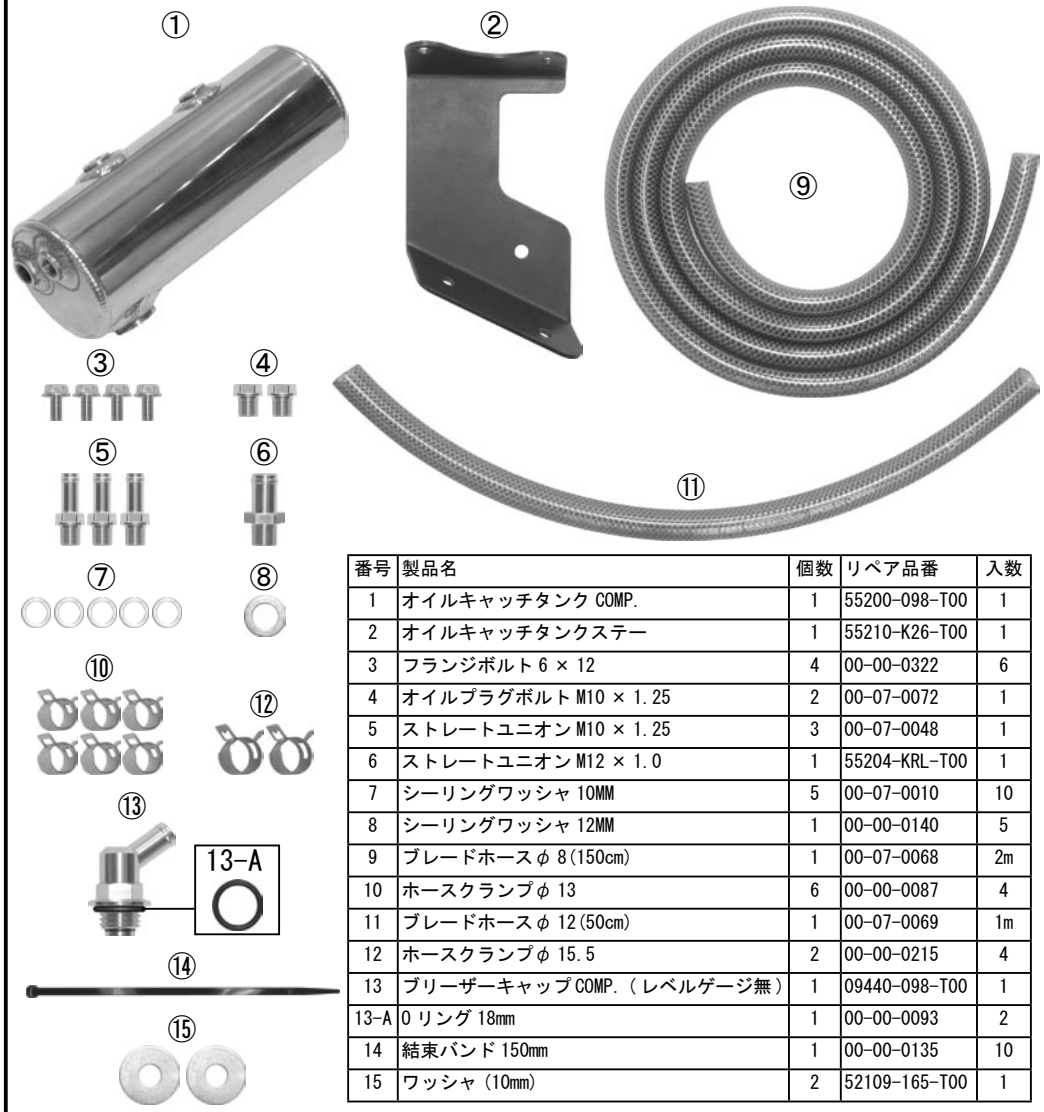
■作業等を行う際は､必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行って下さい。(火傷の原因となります。)
■作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
■刃物等を使用する際は、手を保護し、取り扱いに十分に注意し、作業を行って下さい。(ケガの原因となります。)
■規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。
(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
■製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。
(ケガの原因となります。)
■走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。(部品の脱落の原因となります。)
■走行前には必ずエンジンオイルが循環している事を確認してから走行して下さい。(エンジン損傷の原因となります。)
■キャッチタンクは必ずホースを接続した状態でご使用下さい。
タンクのみを取り付けた場合、振動等でステーが破損し、タンクが脱落する可能性があります。

⚠ 警告　この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

■エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。
密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
■エンジン回転中や、エンジン停止後しばらくの間は、エンジン及びマフラーは高温になっています。
近くにガソリン等の危険物や燃えやすい物を絶対に置かないで下さい。(火災につながる恐れがあります。)
■走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。
(事故につながる恐れがあります。)
■作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。
(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
■点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
■点検、整備等を行った際、損傷部品が見つかれば、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。
(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
■製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。
(幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。)

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後１ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

製品内容



番号	製品名	個数	リペア品番	入数
1	オイルキャッチタンク COMP.	1	55200-098-T00	1
2	オイルキャッチタンクステー	1	55210-K26-T00	1
3	フランジボルト 6 × 12	4	00-00-0322	6
4	オイルプラグボルト M10 × 1.25	2	00-07-0072	1
5	ストレートユニオン M10 × 1.25	3	00-07-0048	1
6	ストレートユニオン M12 × 1.0	1	55204-KRL-T00	1
7	シーリングワッシャ 10MM	5	00-07-0010	10
8	シーリングワッシャ 12MM	1	00-00-0140	5
9	ブレードホースφ 8(150cm)	1	00-07-0068	2m
10	ホースクランプφ 13	6	00-00-0087	4
11	ブレードホースφ 12(50cm)	1	00-07-0069	1m
12	ホースクランプφ 15.5	2	00-00-0215	4
13	ブリーザーキャップ COMP.（レベルゲージ無）	1	09440-098-T00	1
13-A	0 リング 18mm	1	00-00-0093	2
14	結束バンド 150mm	1	00-00-0135	10
15	ワッシャ (10mm)	2	52109-165-T00	1

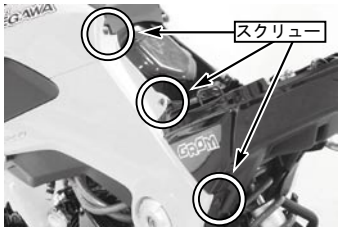
※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。
品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいます様お願い致します。

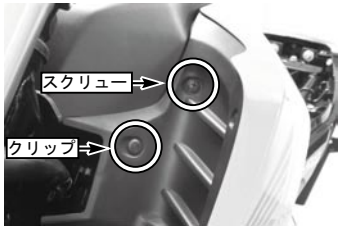
株式会社 スペシャルパーツ 武川
〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL http://www.takegawa.co.jp
お問い合わせ専用ダイヤル：0721-25-8857

■取り付け要領　※細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

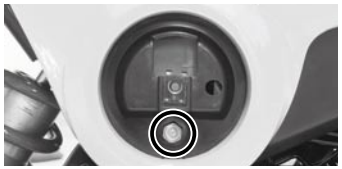
車両をメンテナンススタンド等などで、車体を安定させてください。
メインキーを乗車時左にある鍵穴に差込み、ロックを外すことでシートが外れます。

乗車時左側のシュラウドを外します。
下写真のスクリューとクリップを取り外すことで、シュラウドが外れます。
クリップは中央を押すことで外れます

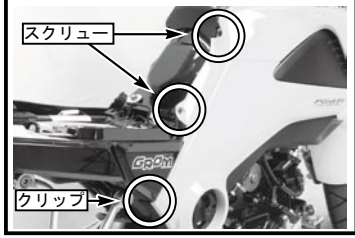


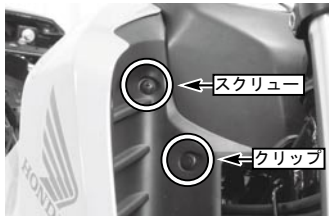


乗車時右側のシュラウドを外します。
車両中央にあるカバーを外し、中にあるネジを外します。



下写真のスクリューとクリップを取り外すことで、シュラウドが外れます。
クリップは中央を押すことで外れます





乗車時左側にキャッチタンクステーを取り付けます。取り付け位置にあるハーネスコードをハーネスコード固定クリップと共に取り外します。

図 A のようにクリップを引っ張らずにマイナスドライバーなど細いものを使用し、クリップのストッパー部分を押します。確実に押した状態で、軽く引き上げます。
図 B のように片側のクリップが少し引き上がった状態で止めます。
図 C のように逆方向からクリップのストッパー部分を確実に押し、クリップを引き抜きます。

クリップの取り外しが困難な場合は、カットして頂き、付属のタイラップでハーネスをステーに固定します。

図 A

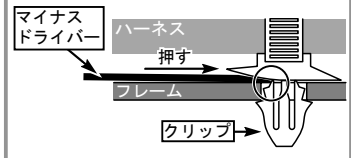


図 B

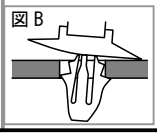
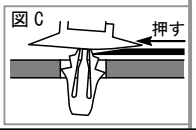


図 C

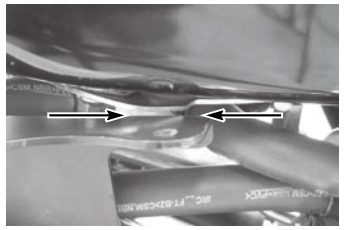


ハーネスコードを外すとネジ穴が 2 箇所でてくるので、フランジボルト 6 × 12 を 2 本使用し、キャッチタンクステーを取り付けます。
ステーはハーネスの裏側になります。
又、キャッチタンクステーの上部裏側にあるフューエルホースが折れない位置に固定して下さい。

外したハーネスコード固定クリップを取り付けたキャッチタンクステーにはめ込みます。クリップをカットした場合は、付属のタイラップでハーネスをステーに固定します。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
フランジボルト
トルク：12N・m（1.2kgf・m）

車両の個体差によりキャッチタンクステー上部がフューエルポンプステーに干渉する場合があります。下写真のようなクリアランスが必要になります。



キャッチタンクステー上部がフューエルポンプステーに干渉する場合の対処法

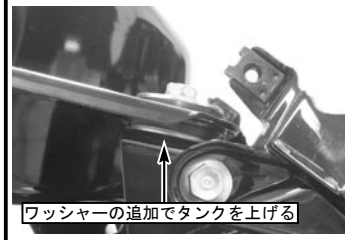
付属のワッシャー（10mm）を使用し、フューエルタンクを上げる必要があります。

フューエルタンクの前にあるボルトナットを緩めます。

■取り付け要領

フューエルタンクの後ろのボルト 2 本を外します。

フューエルタンクの後ろ側を持ち上げ、フューエルタンクの下に片側 1 枚ずつワッシャーを入れて下さい。
後ろのボルトを仮締めし、フューエルタンクの前側を少し上に持ち上げながら、前のボルトナットを本締めして下さい。最後に後ろのボルトを本締めして下さい。

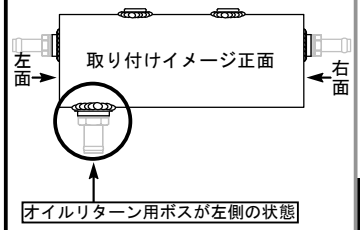


⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
フューエルタンク前側ボルト
トルク：12N・m（1.2kgf・m）

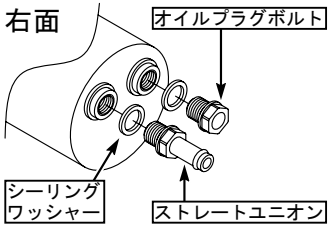
フューエルタンク後ろ側ボルト
トルク：10N・m（1.0kgf・m）

キャッチタンクにユニオン類を取り付けます。必ず、タンク単品の状態で行って下さい。ステーにタンクを固定した状態でユニオンを装着した場合、ステーが曲がる恐れがあります。

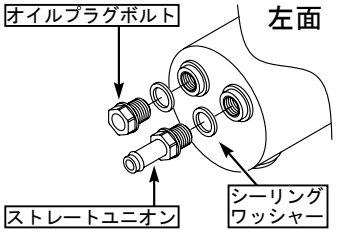
下図のようにキャッチタンクの底にあるオイルリターン用ボスが左側にある状態で右面と左面とし、ユニオンの取り付けを説明します。

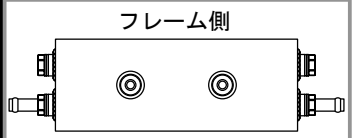


オイルキャッチタンクの右面にシーリングワッシャ 10MM、オイルプラグボルト M10 × 1.25、ストレートユニオン M10 × 1.25 を取り付けます。
フレーム側にオイルプラグボルトを取り付けて下さい。



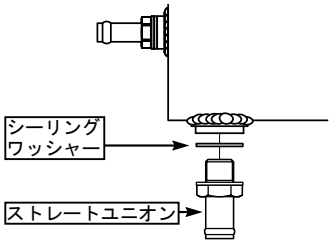
オイルキャッチタンクの左面にシーリングワッシャ 10MM、オイルプラグボルト M10 × 1.25、ストレートユニオン M10 × 1.25 を取り付けます。
フレーム側にオイルプラグボルトを取り付けて下さい。





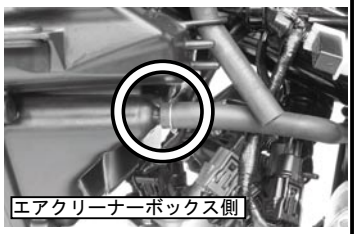
⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
M10 ユニオン / プラグボルト
トルク：10N・m（1.0kgf・m）

オイルキャッチタンクの底にあるオイルリターン用ボスにシーリングワッシャ 12MM とストレートユニオン M12 × 1.0 を取り付けます。

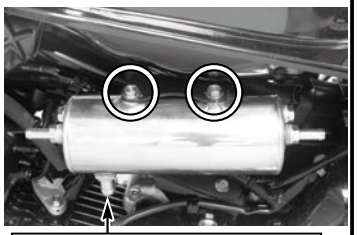


⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
M12 ユニオン
トルク：15N・m（1.5kgf・m）

クランクケースとエアクリーナーボックスをつないでいる純正ホースを取り外します。



フランジボルト 6 × 12 を使用し、オイルキャッチタンクの底にあるオイルリターン用ボスがフロント側になるようにオイルキャッチタンクをキャッチタンクステーに取り付けます。



⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
フランジボルト
トルク：12N・m（1.2kgf・m）

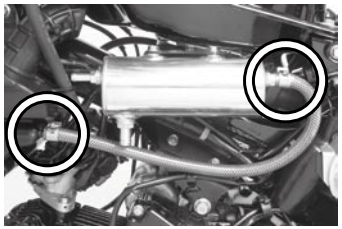
ブリーザーキャップ COMP. に付いている O リング 18MM にエンジンオイルを薄く塗布して下さい。
ノーマルオイルレベルゲージを外し、ブリーザーキャップを取り付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ブリーザーキャップ COMP.
トルク：8N・m（0.8kgf・m）

■取り付け要領　※細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

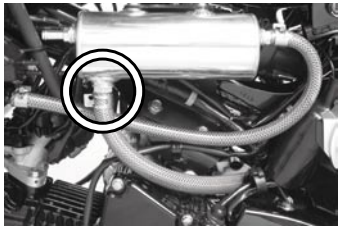
ブレードホースφ8を適当な長さ（目安39cm～41cm）にカットします。
ホースの先端2ヶ所にホースクランプφ13を通し、先ほどエアクリーナーボックスに純正ホースが取り付けられていた部分（左写真：エアクリーナーボックス側）に取り付けます。

ホース反対側をキャッチタンク後ろ側（右面）のストレートユニオンにつなぎます。
取り回しやホースのねじれや折れを確認後、ホースクランプで確実にホースを固定します。



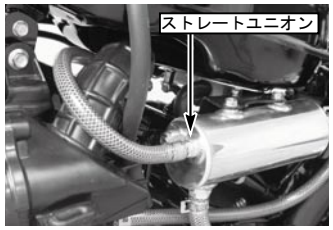
ブレードホースφ12を適当な長さ（目安40cm～42cm）にカットします。
ホースクランプφ15.5をホース片方に取り付けオイルリターン用ユニオンに取り付けます。

ホースクランプをつけずにフレームとクランクケースの間に通し、クラッチ側へホースを送ります。
ここで、ホースクランプφ15.5を取り付け、ブリーザーキャップCOMP.につなげます。
取り回しやホースのねじれや折れを確認後、ホースクランプで確実にホースを固定します。

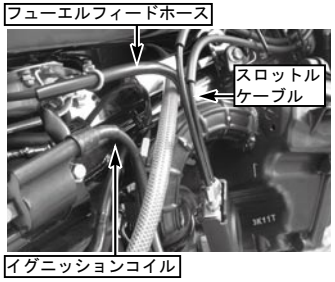


注意
クラッチワイヤー、レリーズアームに干渉しないようにホースの取り回しを行って下さい。

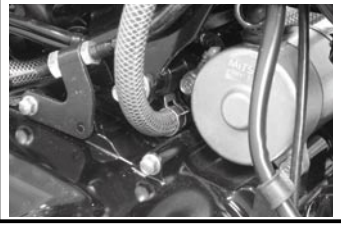
ブレードホースφ8を適当な長さ（目安58cm～60cm）にカットします。
ホースの片方にホースクランプφ13を通し、キャッチタンク前側（左面）のストレートユニオンにつなぎます。
ホースクランプをつけずにフューエルタンクとフレームの間に通し、クラッチ側へホースを送ります。



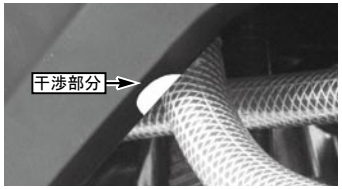
下写真のようにフューエルフィードホースとスロットルケーブルの背面を通り、イグニッションコイルの上に出します。

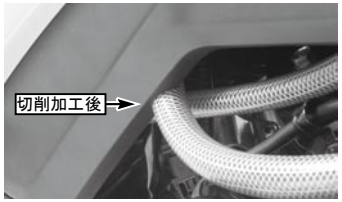


ここで、ホースクランプφ13を取り付けます。
先ほどクランクケースに純正ホースがつながれていた部分にホースをつなぎます。
取り回しやホースのねじれや折れを確認後、ホースクランプで確実にホースを固定します。



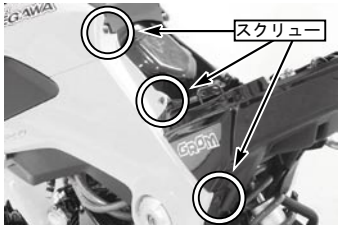
乗車時左側のシュラウドカバーのロアカバー部分を加工します。
通常の取り付け位置にシュラウドをあて、オイルリターンホースの干渉する部分を削ります。下写真は加工例

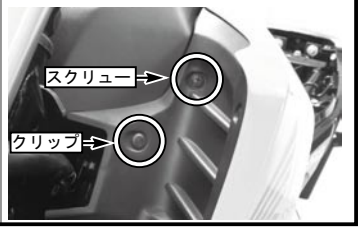




左右のシュラウドとシートを取り付けします。
左右のシュラウド共に裏側のクリップがついているか確認します。無い場合は車体側についている為、外してシュラウドに取り付けます。

乗車時左側のシュラウドを装着します。
クリップを車体に確実にはめ込み、スクリューとクリップで固定します。
シュラウドの内側にエアクリーナボックスへの差込みフックがあります。

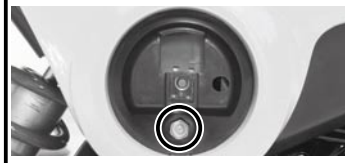




■取り付け要領

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
シュラウドのスクリュー
トルク：4.2N・m（0.42kgf・m）

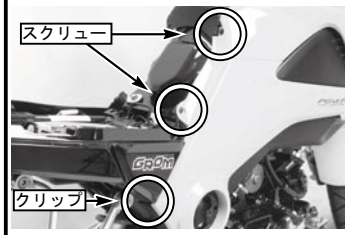
乗車時右側のシュラウドを装着します。クリップを車体に確実にはめ込みます。
車両中央にある（下写真）のボルトを締め付けます。

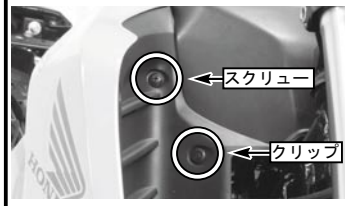


⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：12N・m（1.2kgf・m）

カバーを取り付け、スクリューを締め付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：5.2N・m（0.52kgf・m）





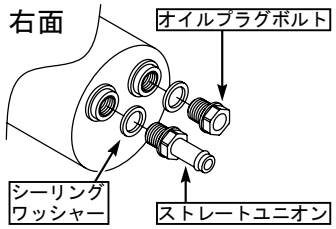
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
スクリュー
トルク：4.2N・m（0.42kgf・m）

シートを取り付けます。
シート裏の突起部分をフレームにあるフックに後ろから差込み、シートがロックされるまで後部を前部に下方向に押します。最後にシート後部のロックがかかるまで上から押して下さい。

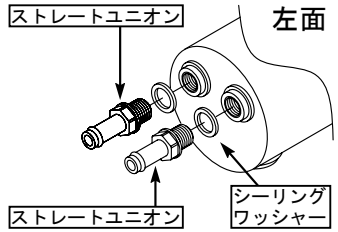
■取り付け要領　※細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

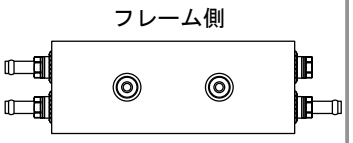
シリンダーヘッドからブリーザーホースを取り出す場合、弊社製スーパーヘッド 4V+R シリンダーヘッドを装着する必要があります。弊社製スーパーヘッド 4V+R シリンダーヘッドにあるインスペクションブリーザーカバーにホースを接続出来ます。ホース接続用のバンジョー、バンジョーボルトはスーパーヘッド 4V+R キットに付属しています。

オイルキャッチタンクの右面にシーリングワッシャ 10MM、オイルプラグボルト M10 × 1.25、ストレートユニオン M10 × 1.25 を取り付けます。
フレーム側にオイルプラグボルトを取り付けて下さい。



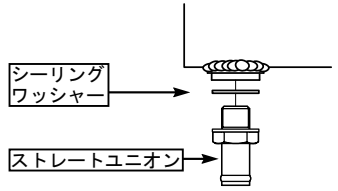
オイルキャッチタンクの左面にシーリングワッシャ 10MM、ストレートユニオン M10 × 1.25 を取り付けます。
フレーム側にオイルプラグボルトを取り付けて下さい。





⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
M10 ユニオン / プラグボルト
トルク：10N・m（1.0kgf・m）

オイルキャッチタンクの底にあるオイルリターン用ボスにシーリングワッシャ 12MM とストレートユニオン M12 × 1.0 を取り付けます。

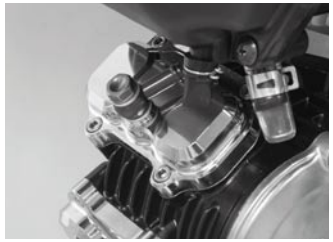


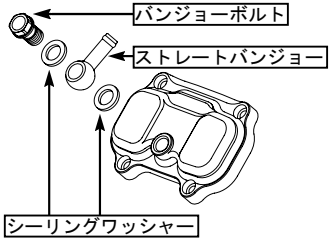
⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
M12 ユニオン
トルク：15N・m（1.5kgf・m）

下写真の状態までのステーの取り付け、各ブリーザーホース、ブリーザーキャップの取り付けは前ページの方法と同じです。

弊社製スーパーヘッド 4V+R シリンダーヘッド装着車の場合

インスペクションブリーザーカバーにスーパーヘッド 4V+R キットに付属のストレートバンジョー、バンジョーボルト、シーリングワッシャーを取り付けます。



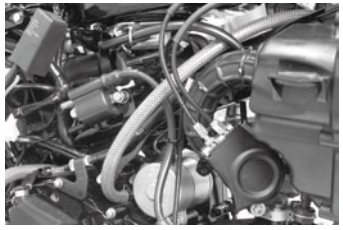


⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
バンジョーボルト
トルク：13N・m（1.3kgf・m）

ブレードホース φ 8 を適当な長さ（目安 28cm）にカットします。
ホースの片方にホースクランプ φ 13 を通し、キャッチタンク前側（左面）の奥にあるストレートユニオンにつなぎます。
ホースクランプをつけずにフレームの下を通し、シリンダーヘッド側へホースを送ります。

ここで、ホースクランプ φ 13 を取り付け、インスペクションブリーザーカバーにつなげます。
取り回しやホースのねじれや折れを確認後、ホースクランプで確実にホースを固定します。

下写真のように、クランクケースへのブリーザーホースの取り付けは前ページの方法と同じです。



その他、シュラウドの加工方法、シュラウドとシートの取り付け方法は前ページの方法と同じです。